## Graviton Scattering in AdS at Two Loops

#### 袁 野

#### 浙江大学

#### 第三届全国场论与弦论学术讨论会 北京 2022.08.25

▲□▶ ▲□▶ ▲三▶ ▲三▶ 三三 のへで

#### arXiv:2112.15174

#### work in collaboration with 黄中杰



▲□▶ ▲□▶ ▲ 三▶ ▲ 三▶ 三三 - のへぐ

#### Backgrounds

(ロ)、(型)、(E)、(E)、 E) の(()

## Scattering particles in AdS



- Help understand the gauge/gravity duality.
- Probe perturbative dynamics in curved spacetime.
- Most interesting to scatter gravitons.

# Direct computation is possible (Witten diagrams) but HARD.

▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ □ のQで

Viewing from the boundary

#### A new approach from the boundary side: bootstrap the conformal correlator

(cf e.g. [Bissi, Sinha, Zhou, '22] and reference therein)

rough idea:

- Boundary theories with a weakly-coupled gravity dual is generally thought to have a large parameter (N).
- Expansion in *N* corresponds to loop expansion in the bulk.
- Large N expansion to the crossing equation induces recursive relations among CFT data at different orders.

▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ■ ● ●

The theory we discuss today

 $\mathcal{N} = 4$  super Yang–Mill theory in 4d with SU(N)

supergravity limit:

 $N \longrightarrow \infty, \qquad \lambda \longrightarrow \infty$ 

type II sugra in  $AdS_5\times S^5$  graviton multiplet + Kaluza–Klein modes

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

#### Boundary description

Chiral primary operators (CPO)

$$\mathcal{O}_{p} = y_{a_1} y_{a_2} \cdots y_{a_3} \operatorname{tr}(\phi^{a_1} \phi^{a_2} \cdots \phi^{a_p}) + \cdots,$$

 $y \text{ for } \mathsf{R} ext{-symmetries}, \\ \mathcal{O}_2 \Leftrightarrow \mathsf{graviton}, \ \mathcal{O}_{p>2} \Leftrightarrow \mathsf{Kaluza} ext{-Klein}.$ 

CPO 4-point correlator

$$\langle \mathcal{O}_{p_1} \mathcal{O}_{p_2} \mathcal{O}_{p_3} \mathcal{O}_{p_4} \rangle = (\text{some factor}) \, \mathcal{G}_{p_1 p_2 p_3 p_4}(z, \bar{z}, \alpha, \bar{\alpha}),$$

where the four variables are cross-ratios

$$\frac{x_{12}^2 x_{34}^2}{x_{13}^2 x_{24}^2} = u = z\bar{z}, \qquad \frac{x_{14}^2 x_{23}^2}{x_{13}^2 x_{24}^2} = v = (1-z)(1-\bar{z}),$$

(similar expressions for  $\{\alpha, \bar{\alpha}\}$  related to y).

◆□▶ ◆□▶ ◆三▶ ◆三▶ ○○○

#### Large N expansion

Expand using the central charge  $c \equiv \frac{N^2 - 1}{4}$  $\mathcal{G}_{\{p\}} = \mathcal{G}_{\{p\}}^{(0)} + \frac{1}{c} \mathcal{G}_{\{p\}}^{(1)} + \frac{1}{c^2} \mathcal{G}_{\{p\}}^{(2)} + \frac{1}{c^3} \mathcal{G}_{\{p\}}^{(3)} + \cdots$ 

(For now ignore the  $\lambda^{-1/2}$  corrections.)

◆□▶ ◆□▶ ◆臣▶ ◆臣▶ 臣 のへぐ

## Large N expansion

- G<sup>(0)</sup>: disconnected diagrams (no interaction); computable using mean field theory.
- *G*<sup>(1)</sup>: tree diagrams;
   arbitrary *G*<sup>(1)</sup><sub>p1p2p3p4</sub> known by now [Rastelli, Zhou, '14], etc.

   *G*<sup>(2)</sup>: one loop;
  - partial results are available recently  $(\mathcal{G}_{22pp}^{(2)}, \mathcal{G}_{3333}^{(2)}, \ldots)$ , using a method to be discussed. [Alday, Caron-Huot, '17], [Aprile et al, '17], etc.
- G<sup>(3)</sup>: two loops;

almost zero results before this work.

Now also [Drummond, Paul, '22]

We target at 
$$\mathcal{G}_{2222}^{(3)}.$$

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

## Spectrum



$$\mathcal{G}_{2222} = ((\texttt{protected}) \texttt{ short}) + \underbrace{\sum_{t,l,m,n} \mathcal{A}_{t,l,m,n}}_{(\texttt{unprotected}) \texttt{ long}}.$$

Better organization

$$\mathcal{G}_{2222} = \mathcal{G}_{\text{free}} + \mathcal{I}(z, \bar{z}, \alpha, \bar{\alpha}) \mathcal{H}(z, \bar{z})$$

 ${\mathcal H}$  further decomposes into ordinary blocks

$$\mathcal{H} = \sum_{ au, \ell} a_{ au, \ell} g_{ au+4, \ell}(z, ar{z})$$

▲□▶ ▲□▶ ▲ 三▶ ▲ 三▶ 三三 - のへぐ

#### Spectrum

Data not protected (*i* labels different long operators):

$$\tau_{i} = \tau_{i}^{(0)} + c^{-1}\gamma_{i}^{(1)} + c^{-2}\gamma_{i}^{(2)} + c^{-3}\gamma_{i}^{(3)} + \cdots,$$
  
$$a_{i} = a_{i}^{(0)} + c^{-1}a_{i}^{(1)} + c^{-2}a_{i}^{(2)} + c^{-3}a_{i}^{(3)} + \cdots$$

►  $a_i^{(0)} \neq 0$  ⇒ double-trace operators formed by CPOs, of the form  $[\mathcal{OO}]_{n,\ell} \equiv \mathcal{O}\Box^n \partial^\ell \mathcal{O}$ .

▶  $a_i^{(0)}, \tau_i^{(0)}$  are determined from mean field theory. In particular

$$\tau_i^{(0)} = 4 + 2n, \quad \text{for some } n,$$

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

Plug this expansion into the block expansion of H

$$\mathcal{H} = \sum_{i} \left( a_{i}^{(0)} + c^{-1} a_{i}^{(1)} + \cdots \right) g_{\tau_{i}^{(0)} + c^{-1} \gamma_{i}^{(1)} + \cdots, \ell}$$

#### Structure of coefficients

- Note g<sub>τ,ℓ</sub>(z, z̄) = (zz̄)<sup>τ/2</sup>(···). The expansion in 1/c gives rise to powers of log(u) (s-channel).
- Max power is p at order  $c^{-p}$ , with the form

$$\mathcal{H}^{(\boldsymbol{p})} \subset \frac{1}{\boldsymbol{p}! \, 2^{\boldsymbol{p}}} \log(\boldsymbol{u})^{\boldsymbol{p}} \sum_{\boldsymbol{\tau}^{(0)}, \boldsymbol{\ell}} \langle \boldsymbol{a}^{(0)}(\boldsymbol{\gamma}^{(1)})^{\boldsymbol{p}} \rangle_{\boldsymbol{\tau}^{(0)}, \boldsymbol{\ell}} \boldsymbol{g}_{\boldsymbol{\tau}^{(0)}+4, \boldsymbol{\ell}} \cdot$$

 $\langle \cdots \rangle$  due to operator degeneracy.

The leading log coefficients above are completely determined by data of double-trace operators

$$\langle \boldsymbol{a}^{(0)}(\boldsymbol{\gamma}^{(1)})^{\boldsymbol{p}} \rangle \sim \frac{\langle \boldsymbol{a}^{(0)} \boldsymbol{\gamma}^{(1)} \rangle^{\boldsymbol{p}}}{\langle \boldsymbol{a}^{(0)} \rangle^{\boldsymbol{p}-1}}.$$

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

## Structure of coefficients

	$ $ $c^{-2}$	$c^{-3}$
$\frac{\log(u)^0}{\log(u)^1}$	$\begin{vmatrix} \langle a^{(2)} \rangle \\ \langle a^{(1)} \gamma^{(1)} + a^{(0)} \gamma^{(2)} \rangle \end{vmatrix}$	$\langle \mathbf{a}^{(3)} angle \ \langle \mathbf{a}^{(2)}\gamma^{(1)}+\mathbf{a}^{(1)}\gamma^{(2)}+\mathbf{a}^{(0)}\gamma^{(3)} angle  angle$
$\frac{\log(u)^2}{\log(u)^3}$	$\langle a^{(0)}(\gamma^{(1)})^2  angle$	$\begin{array}{c} \langle \textit{a}^{(1)}(\gamma^{(1)})^2 + 2\textit{a}^{(0)}\gamma^{(1)}\gamma^{(2)} \rangle \\ \langle \textit{a}^{(0)}(\gamma^{(1)})^3 \rangle \end{array}$

Coefficients in other terms take the generic form, e.g.,

- At each order  $c^{-p}$ 
  - ► The new data a<sup>(p)</sup> and γ<sup>(p)</sup> only show up in the log(u)<sup>0</sup> and log(u)<sup>1</sup> coefficients.
  - ▶ log(u)<sup>p≥2</sup> terms are in principle recursively determined by data at lower orders.

### Recursive computation



#### Recursive computation: one loop



## Recursive computation: two loops?



▲□▶ ▲□▶ ▲三▶ ▲三▶ 三三 - のへで

Recursive computation: two loops?



#### new operators $[\mathcal{O}\mathcal{O}\mathcal{O}]$

▲□▶ ▲□▶ ▲三▶ ▲三▶ 三三 のへで

**More Ingredients** 

#### Hidden symmetries

Tree-level results suggests a hidden 10d conformal symmetry. [Caron-Huot, Trinh, '18]

This dictates the leading log terms to be identical to

$$\begin{aligned} \mathcal{H}^{(p)}\big|_{\log(u)^{p}} &= \left[\Delta^{(8)}\right]^{p-1} \mathcal{F}^{(p)}(z,\bar{z}). \end{aligned}$$
  
Here  $\left(D_{z} = z^{2}\partial_{z}(1-z)\partial_{z}\right)$   
 $\Delta^{(8)} &= \frac{z\bar{z}}{\bar{z}-z}D_{z}(D_{z}-2)D_{\bar{z}}(D_{\bar{z}}-2)\frac{\bar{z}-z}{z\bar{z}}, \end{aligned}$   
 $\mathcal{F}^{(p)}(z,\bar{z}) &= \sum_{|\vec{a}|=0}^{p} \frac{\rho_{\vec{a}}(z,\bar{z})}{(\bar{z}-z)^{7}} \underbrace{\mathcal{G}}_{\text{MPL}}(\vec{a};z) + (z\leftrightarrow\bar{z}). \end{aligned}$ 

The components of vector  $\vec{a}$  take values in  $\{0,1\}$ .  $\rho_{\vec{a}}$  is a polynomial of weight 7 in each variable.

#### Correlator at one loop

The leading log

$$\mathcal{H}^{(2)}\big|_{\log(u)^2} = \Delta^{(8)} \mathcal{F}^{(2)}(z, \overline{z}).$$

This structure extends to the entire correlator at one loop, with a slight modification [Aprile et al, '19]

$$\begin{aligned} \mathcal{H}^{(2)} &= \Delta^{(8)} \mathcal{L}^{(2)} + \frac{1}{4} \mathcal{H}^{(1)}, \\ \mathcal{L}^{(2)} &= \sum_{|\vec{a}| + |\vec{a}'| = 0}^{4} \frac{\rho_{\vec{a}, \vec{a}'}(z, \bar{z})}{(\bar{z} - z)^7} \mathcal{G}(\vec{a}; z) \mathcal{G}(\vec{a}'; \bar{z}). \end{aligned}$$

ρ<sub>ā,ā'</sub> is again some polynomial of degree 7 in each variable.
 The total weight of each term including that of the coefficient does not exceed 4.

#### Ansatz

#### Main ansatz

$$\mathcal{H}^{(3)} = \left[\Delta^{(8)}\right]^2 \mathcal{L}^{(3)} + a_2 \mathcal{H}^{(2)} + a_1 \mathcal{H}^{(1)}.$$

#### Functions that can appear

- One-loop correlator and leading log terms decompose onto multiple polylogarithms with maximal weight 2p.
- Single-valued on the Euclidean slice  $\bar{z} = z^*$ .
- Crossing symmetries of  $\mathcal{G}_{2222}$  forms an  $S_3$  group.

$$rac{(z-ar{z})^4}{(zar{z})^4}\mathcal{H}$$

has to be fully crossing invariant.

- By definition *H*<sub>2222</sub> is invariant under exchanging *z* ↔ *z̄*, which forms a Z<sub>2</sub> group.
- ► These together makes an S<sub>3</sub> × Z<sub>2</sub> group, whose representations fall into six types {1<sup>±</sup>, 1<sup>±</sup>, 2<sup>±</sup>}.
- The above combination transforms in  $1^+$  (singlet).

#### Functions that can appear

 Singularities of MPLs are encoded in a mathematical object named symbol.

Examples

$$S \log(x) = x,$$
  

$$S \log(x) \log(y) = x \otimes y + y \otimes x,$$
  

$$S \text{Li}_2(x) = -(1 - x) \otimes x.$$

- A symbol alphabet is the set of all symbol entries.
- Up to one loop, the alphabet is restricted to

$$\{z,\bar{z},1-z,1-\bar{z}\}.$$

▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ■ ●の00

lt turns out two loops calls for an extra  $z - \overline{z}$  in the alphabets.

## Basis

- MPLs
- single-valued
- $\blacktriangleright$  belong to  $\{1^\pm, \bar{1}^\pm, 2^\pm\}$
- up to transcendental weight 6
- with symbol alphabets  $\{z, \overline{z}, 1 z, 1 \overline{z}, z \overline{z}\}$

▲□▶ ▲□▶ ▲ □▶ ▲ □▶ □ のへぐ



 $G^{\rm SV}_{w,r,i}(z,\bar{z}),$ 

▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ■ ●の00

w: weight, r: representation, i: extra degeneracy.

These basis can be worked out by a well-defined algorithm. [Chavez, Duhr, '12]

## Basis

1+	1-	$\bar{1}^+$	$\bar{1}^{-}$	$2^+$	$2^-$		
1	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	1	0		
2	1	0	0	1	0		
2	0	1	0	3	1		
5	3	1	0	5	2		
7	3	4	2	11	5		
15	10	6	3	20	12		
	$\begin{array}{ c c c } 1^+ \\ 1 \\ 0 \\ 2 \\ 2 \\ 5 \\ 7 \\ 15 \end{array}$	$\begin{array}{ c c c c } 1^+ & 1^- \\ \hline 1 & 0 \\ 0 & 0 \\ 2 & 1 \\ 2 & 0 \\ 5 & 3 \\ 7 & 3 \\ 15 & 10 \\ \end{array}$	$\begin{array}{c ccccc} 1^+ & 1^- & \bar{1}^+ \\ \hline 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 \\ 2 & 1 & 0 \\ 2 & 0 & 1 \\ 5 & 3 & 1 \\ 7 & 3 & 4 \\ 15 & 10 & 6 \end{array}$	$\begin{array}{ c c c c c c c c } 1^+ & 1^- & \mathbf{\bar{1}}^+ & \mathbf{\bar{1}}^- \\ \hline 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 \\ 2 & 1 & 0 & 0 \\ 2 & 0 & 1 & 0 \\ 5 & 3 & 1 & 0 \\ 7 & 3 & 4 & 2 \\ 15 & 10 & 6 & 3 \\ \hline \end{array}$	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$		

• Counting of functions without  $z - \bar{z}$ 

Functions with z - z̄ starts to appear at weight 3, where there is a unique one. It turns out functions at higher weights are not needed.

## Ansatz

$$\begin{aligned} \mathcal{H}^{(3)} &= \left[\Delta^{(8)}\right]^2 \mathcal{L}^{(3)} + a_2 \mathcal{H}^{(2)} + a_1 \mathcal{H}^{(1)}, \\ \mathcal{L}^{(3)} &= \sum_{w=0}^6 \sum_{r,i} \frac{\omega_i^{w,r}(z,\bar{z})}{(\bar{z}-z)^7} G_{w,r,i}^{\rm SV}(z,\bar{z}), \\ \omega_i^{w,r} &= \sum_{j,k=0}^7 c_{i,j,k}^{w,r} z^j \bar{z}^k, \quad c_{i,j,k}^{w,r^{\pm}} = \mp c_{i,k,j}^{w,r^{\pm}}. \end{aligned}$$

#### Bootstrap

## Constraints on $\mathcal{L}^{(3)}$ : general

- 1. In Euclidean region  $\mathcal{L}^{(3)}$  should be finite at  $z = \overline{z}$ .
- 2. As a sum of s-channel blocks with identical external operators, exchanging operator 1 and 2 should leave  ${\cal L}^{(3)}$  unchanged

$$\mathcal{L}^{(3)}(z,\bar{z}) = \mathcal{L}^{(3)}\left(\frac{\bar{z}}{\bar{z}-1},\frac{z}{z-1}\right).$$

▲□▶ ▲□▶ ▲ 三▶ ▲ 三▶ 三 のへぐ

Constraints on  $\mathcal{L}^{(3)}$ : SYM

- A When expanding  $\mathcal{L}^{(3)}$  in the s-channel, all the  $\log(u)^p$  terms with p > 3 have to vanish.
- B The  $\log(u)^3$  terms of  $\mathcal{L}^{(3)}$  should match known data

$$\mathcal{L}^{(3)}(z,\bar{z})\big|_{\log(u)^3} = \mathcal{F}^{(3)}(z,\bar{z}),$$

This is because the leading log terms are determined solely by double-trace operators, and the recursive data  $\langle a^{(0)}(\gamma^{(1)})^3 \rangle$  can be trusted.

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

Constraints on  $\mathcal{H}^{(3)}$ : general

3  $\mathcal{H}^{(3)}$  should respect the full crossing symmetries. With the help of the  $\mathrm{S}_3\times\mathbb{Z}_2$  SVMPL basis, this is equivalent to requiring that in

$$\frac{(z-\bar{z})^4}{z^4\bar{z}^4}\mathcal{H}^{(3)} \equiv \sum_{w,r,i} \Omega_i^{w,r}(z,\bar{z}) G_{w,r,i}^{\rm SV}(z,\bar{z}),$$

the rational coefficient functions  $\Omega_i^{w,r}(z, \bar{z})$  transform in a way such that each term on RHS is an S<sub>3</sub> invariant.

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

## Constraints on $\mathcal{H}^{(3)}$ : SYM

C Tree-level  $\mathcal{H}^{(1)}$  has poles at z = 1 and  $\overline{z} = 1$ , which are not expected to be present in  $\mathcal{H}^{(3)}$ . So there should be cancellation between  $\mathcal{H}^{(1)}$  and  $\left[\Delta^{(8)}\right]^2 \mathcal{L}^{(3)}$ . This fixes

$$a_1 = -\frac{1}{16}.$$

D Recursive data for the subleading log  $\langle a^{(1)}(\gamma^{(1)})^2 + 2a^{(0)}\gamma^{(1)}\gamma^{(2)}\rangle$  can be trusted at twist 4, which consists of a unique double-trace operator

$$\begin{split} \langle \mathbf{a}^{(1)}(\gamma^{(1)})^2 + 2\mathbf{a}^{(0)}\gamma^{(1)}\gamma^{(2)}\rangle_{4,\ell} \\ &= \frac{2\langle \mathbf{a}^{(0)}\gamma^{(1)}\rangle_{4,\ell} \langle \mathbf{a}^{(1)}\gamma^{(1)} + \mathbf{a}^{(0)}\gamma^{(2)}\rangle_{4,\ell}}{\langle \mathbf{a}^{(0)}\rangle_{4,\ell}} - \frac{\langle \mathbf{a}^{(0)}\gamma^{(1)}\rangle_{4,\ell}^2 \langle \mathbf{a}^{(1)}\rangle_{4,\ell}}{\langle \mathbf{a}^{(0)}\rangle_{4,\ell}^2} \end{split}$$

This fits

$$a_2 = \frac{5}{4}.$$

## Constraints on $\mathcal{H}^{(3)}$ : SYM

E Bulk-point limit should reduce to the flat-space four-graviton scattering amplitude in 10d. Specifically here, the leading divergence of  $d\text{Disc }\mathcal{H}(z^{\circlearrowright}, \bar{z})$  at the bulk point limit should match the discontinuity of the scattering amplitude  $\mathcal{A}$  across the t-channel cut.

$$\begin{aligned} & (\bar{z} - z)^{23} \mathrm{dDisc} \, \mathcal{H}^{(3)}(z^{\circlearrowright}, \bar{z}) \big|_{z \to \bar{z}} \\ &= \frac{\Gamma(22)(1 - \bar{z})^{11} \bar{z}^{24}}{8\pi^8} \mathrm{Disc}_{x > 1} \mathcal{A}^{(2)}(x) \big|_{x = 1/\bar{z}}, \end{aligned} \tag{1}$$

The two-loop supergravity amplitude  $\mathcal{A}^{(2)}(x)$  has been computed in [Bissi et al, '20].

# Constraints on $\mathcal{H}^{(3)}$ : SYM



▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□ ● ● ● ●

## Result

After all the above computations

$$\mathcal{H}^{(3)} = \left[\Delta^{(8)}\right]^2 \mathcal{L}^{(3)} + \frac{5}{4}\mathcal{H}^{(2)} - \frac{1}{16}\mathcal{H}^{(1)} + (\text{counterterms}).$$

- We are left with a few remaining degrees of freedom.
- All of them can be identified as coefficients of counterterms (which is beyond the scope of this work), except for ONE!
- This unique freedom looks a somewhat misterious. By far we are not aware of additional concrete PHYSICAL constraints that ultimately fixes it.

▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ▲□▶ ■ ●の00

#### However...

There are two observations which seem to strongly suggests a unique value for this dof.

- The number of indepedent functions in the ansatz basis significantly reduces after the bootstrap. If one asks to further reduce the number, the ONLY possibility is to fix this dof.
- In principle L<sup>(3)</sup> does not have to respect the full crossing symmetry. If one insists on doing this, then it is necessary to fix this dof to the SAME value.

・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・
 ・

## Resulting space of functions

w r	1+	1-	$ar{1}^+$	$ar{1}^-$	$2^+$	$2^-$
0	1	0	0	0	0	0
1	0	0	0	0	1	0
2	$2 \rightarrow 1$	1	0	0	1	0
3	$2 \rightarrow 1$	0	1	0	$3 \rightarrow 2$	1
4	$5 \rightarrow 2$	$3 \rightarrow 2$	1	0	$5 \rightarrow 1$	2
5	$7 \rightarrow 1$	$3 \rightarrow 1$	$4 \rightarrow 1$	$2 \rightarrow 1$	$11 \rightarrow 3$	$5 \rightarrow 3$
6	$15 \rightarrow 0$	$10 \rightarrow 2$	$6 \rightarrow 0$	$3 \rightarrow 1$	$20 \rightarrow 0$	$12 \rightarrow 2$

◆□ ▶ ◆□ ▶ ◆ □ ▶ ◆ □ ▶ ○ □ ○ ○ ○ ○

## Outlook

- Determine the string correction.
- Data for triple-trace operators.
- Other two-loop correlators.
- Structure of  $\mathcal{H}_{2222}$  at even higher loops.
- Understand the hidden conformal symmetries at loop level.

▲□▶ ▲□▶ ▲ 三▶ ▲ 三▶ 三 のへぐ

# Thank you very much!

Questions & comments are welcome.